

# 港区まちづくりビジョン

~暮らして楽しい・遊んで楽しい・働いて楽しい~ 『未来と世界にひらくまち・港区』をめざして

【概要版】

平成28年7月 令和5年4月一部改訂

このビジョンは、人口減少を食い止め、将来予測を覆すために、「令和5年4月から4年間」で港区がめざすまちづくりの方向性を示しています。

# 港区の特性と課題

日本の都市部における課題最先端エリア

# 1 少子高齢化

港区の人口は、令和3年12月には8万人を下回り、 今後さらなる人口減少(2045年には6万人) 以下)が見込まれています。特に年少人口の減少が激しく、小中学校の小規模化が進んでいます。 住みなれた地域で高齢者がいきいきと活動し、安心して暮らすことのできる環境づくりや、子育て世代 に選ばれる子育で・教育環境の充実、外国人住民との共生を進めることが重要になっています。

# 2 地域コミュニティ

港区は、住民どうしのきずなや助け合いの気持ちが強く地域活動が活発なまちです。

一方、本格化する少子・高齢化により地域コミュニティを支える担い手が不足しつつあります。区民 一人ひとりが地域に愛着と関心を持ち、幅広い世代の人々が地域の課題を共有しながら、その解決 に取り組む、「区民主体の持続可能なまちづくり」が今後より一層求められています。

# 3 まちの安全・安心

港区は三方を海と川に囲まれており、津波や高潮の被害を受けやすい地勢にあります。特に、津波 から身を守るためにはいち早く避難することが大切であり、日頃から避難場所や避難経路を確認す る等、逃げ遅れを防ぐ必要があります。

また、高齢者を狙った振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺や若者を狙ったさまざまな消費者被害 が発生しています。地域・事業者・関係機関と協働した啓発や注意喚起の広報が重要です。

# 4 まちのにぎわい

区内東部の弁天町は交通の結節点であり、文化、商業等が集積しています。区内中央部にはハ 幡屋公園や大阪市中央体育館、大阪プールがあります。区内西部の築港・天保山周辺は、海遊館 や大観覧車、世界第一級のクルーズ客船が入港する天保山岸壁など、国内外からの観光客が訪れ るエリアです。2025年大阪・関西万博の開催を機に、活性化が期待されます。

区内の企業は、後継者不足や経済情勢の変化などの影響により事業所数は年々減少しています が、優れた技術と柔軟なアイデアを新たな製品開発につなげる事業者間連携など、町工場のもつカ を発揮する取組も進められています。これまで取り組んできた公民連携を一層推進し、地域経済の 活性化と雇用の拡大をめざす必要があります。

# 港区の将来像

産官学+地域の力を結集した課題「解決」最先端エリア

歴史が育んだ、港区民のDNAともいえるつながりの強さや、観光・文化・産業資源の 「強み」を活かすとともに、三方を海と川に囲まれた防災上の地理的な「弱み」を技術と 地域コミュニティの力で克服し、国内外から注目され、人口増を実現するまちづくりを以下 の「5つの柱」により進めます。

3

セーフティネットの充実

地域福祉の推進

地域包括ケアシステムの構築

健康寿命の延伸

多様性を尊重しあう共生社会づくりの推進

訪れたい魅力と活気あふれるまちづく まちづくり計画によるにぎわいづくり 地域資源を活かしたまちの活性化 (2) まちの魅力の発信

「まちぐるみで子育て」と「多様な学び」を応援するまちづくり 「まちぐるみで子育て」しやすい環境づくり

「将来への夢や希望」を育成するための「多様な学び」の応援

# だれもが健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

歩行や移動の安全性の確保 2 防犯対策の強化 (4)生活環境の向上と改善

防災対策の強化

# 安全・安心・快適なまちづくり 自律した地域運営の促進

豊かなコミュニティの促進

 $\widehat{\mathsf{I}}$ 

区民主体のまちづくり

2

暮らして楽しい 遊んで楽しい

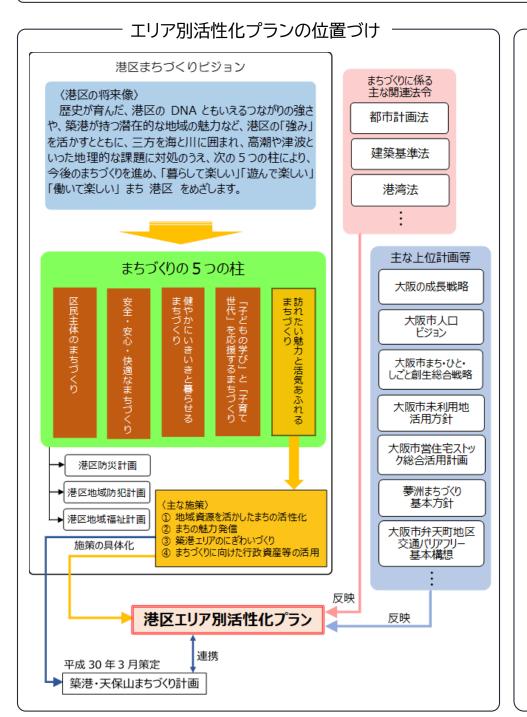


働いて楽しいまち・港区

# 港区エリア別活性化プラン(令和5年3月更新版) 概要版 ①

# 港区エリア別活性化プラン策定の目的

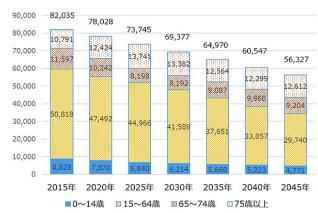
- ・港区のまちづくりの方向性を示した「港区まちづくりビジョン」で掲げた施策との連携を図り、各エリアの活性化にむけた取組みの方向性を示すことにより、「暮らして楽しい」「遊んで楽しい」「働いて楽しい」 まち 港区 の実現をめざす
- ・プランのとりまとめにあたっては、港区の現状、区民ニーズ及び上位計画等との整合性を踏まえた港区全体のまちづくりの方向性を設定するとともに、エリア別取組みの基本方針 に沿って具体的な取組みを示すことにより、各エリアの特色を生かしつつ、港区全体が活性化した持続可能なまちづくりを推進していく



# 港区の現況

#### 人口

港区の将来推計人口は、2045年には、56,327人となり、2015年と比べて約31%減少する予測



出典:日本の地域別将来推計人口 平成30(2018)年推計 (国立社会保障・人口問題研究所)

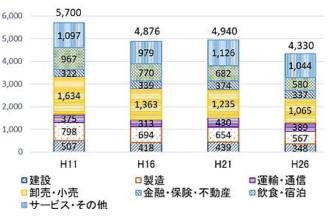
# 都市計画(用途地域)

住居系の用途をベースとして、鉄道駅周辺や幹線道路沿いは商業系、河川沿いや臨海部は工業系の用途地域となっている



# <u>産業</u>

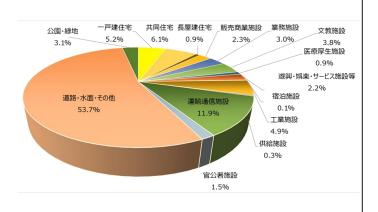
平成 11 年は 5,700 あった事業所数が、平成 26 年は 4,330 まで減少しており、建設、製造、卸売・小売業、飲食・宿泊業の減少が顕著



出典:事業所・企業統計調査及び経済センサス基礎調査

# 土地利用

区域面積の約 6 割が道路、公園等の公共空間となって おり、復興土地区画整理事業による都市基盤整備が充実 している



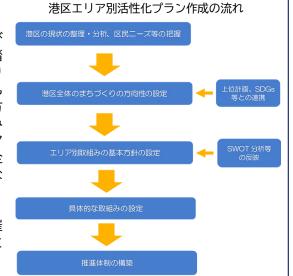
出典:平成29年度土地利用現況データをもとに独自集計

# 港区エリア別活性化プラン(令和5年3月更新版) 概要版 ②

#### プランのとりまとめの考え方

・港区の現状、区民ニーズ及び 上位計画等との整合性を踏 まえた港区全体のまちづくり の方向性を設定するととも に、エリア別取組みの基本方 針に沿って具体的な取組み を示すことにより、各エリア の特色を生かしつつ、港区全 体が活性化した持続可能な まちづくりを推進する

・また、大阪・関西万博の開催 目的である SDGsの達成に も貢献していく



### 港区全体のまちづくりの方向性の設定

港区全体のまちづくりの方向性の設定にあたって必要な視点

- ①大阪の海の玄関口として発展してきた歴史を活かしていく視点
- ②大阪湾岸部の良好な居住エリアとしての魅力を高めていく視点
- ③湾岸部と都心部の結節点として交通利便性の高さを活かしていく視点
- ④新たな価値や面白さを創造する人材が活躍する未来を築いていく視点
- ⑤新型コロナ危機にも対応した公共空間や水辺空間を活用していく視点
- ⑥南海トラフ巨大地震等の大災害に備えた防災性を高めていく視点
- ⑦良好な地域コミュニティや企業等のつながりを活かし発展させる視点

#### 港区全体のまちづくりの方向性

#### 【方向性①】

湾岸部と都心部・府外をつなぐターミナルとして、新たな価値や面白さを創造し再発見するまちづくり

#### 【方向性②】

水辺の特性や公園などのポテンシャルを活かした快適で災害にも強い居住 環境を創出するまちづくり

#### 方向性③】

多様な関係者との公・民・地域連携による創業・継続のしやすいまちづくり

#### エリア別の現状と取組みの方向性

※西部エリアについては、平成30年3月に「築港・天保山まちづくり計画」を策定しており、当該計画に沿った施策を展開

#### ■東部エリアの現状

- ・弁天町駅周辺は交通の要衝地であり、大阪ベイタワーを 中心に、港区の玄関口としての拠点形成が進んでいる
- ・波除地域は、マンション等の建設が進行し、住宅と工場が 混在している
- ・尻無川沿いは水辺の利活用のポテンシャルを有している が、地盤高が低く防災性向上が課題
- ・弁天ふ頭は、長らく活用されていないが、近年、アート工 房などによる個性的な取組みがされている

#### 取組みの方向性

都心と湾岸をつなぐ交通結節点としての立地を最大限に活かした都市機能の強化とにぎわい・魅力の創出を図るとともに、都市居住のもつ利便性の高さと良好な地域コミュニティをベースとした災害に強い安全・安心が確保されたまちづくりを推進する

#### ■中部エリアの現状

- ・エリアの中心に八幡屋公園が立地し、地域住民の憩いと 癒しの場を形成
- ・八幡屋商店街や各地域で特色ある取り組みを通じて良好 な地域コミュニティが形成
- ・市営住宅の建替えによる余剰地の創出が見込まれる
- ・他地域と比べて人口の減少が進行し、空家や空店舗が目立つ状況
- ・空地や三十間堀入堀部などの低未利用地が増加

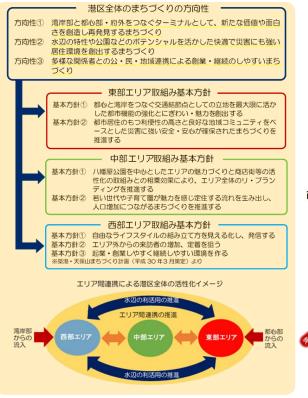
#### 取組みの方向性

八幡屋公園を中心としたエリアの魅力づくりと良好な地域コミュニティをベースとした商店街等の活性化の取組みとの相乗効果により、エリア全体の<u>リ・ブランディング</u>\*を進め、特に若い世代や子育て層が魅力を感じ定住する流れを生み出し、人口増加につながるまちづくりを推進する

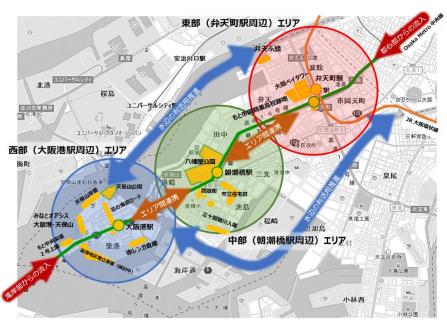
※今ある地域資源等を活かしながら、新しい時代や区民ニーズに適合したまちへと再構築することにより、魅力をさらに高めること

## - エリア別取組みの基本方針

港区全体のまちづくりの方向性及びエリア別取組みの方向性を踏まえて、各エリアの取組みの基本方針を設定し、エリアごとの具体的な取組みにつなげるとともに、エリア間連携を推進することにより港区全体の活性化をめざす



# 港区のエリア間連携のイメージ図



# 港区エリア別活性化プラン(令和5年3月更新版) 概要版 ③

#### 具体的な取組み

- ・各エリアのまちづくり基本方針に沿って、本プランを推進するための具体的な取組みを設定
- ・取組み期間については、令和3年度から万博開催年の令和7年までの概ね4年間とし、関係機関等と協議・調整を十分に行いながら進ちょく状況や取り巻く環境の変化等に柔軟に対応していく

#### — 東部(弁天町駅周辺)エリア -

#### 【取組みの方向性①】大阪ベイタワーを中心とした弁天町駅周辺エリアのにぎわいの創出

①大阪ベイタワーアトリウム等の公共空間を活用した社会実験イベント等の継続的な実施 ②まちづくりプラットフォームの構築

#### 【取組みの方向性②】もと市岡商業高等学校跡地の民間活用(売却)の推進

- ①もと市岡商業高等学校跡地の民間活用(売却)の推進
- ②地域の活性化に貢献する暫定活用の実施

#### 【取組みの方向性③】弁天町駅周辺エリアのバリアフリー化の推進

- ①交通バリアフリー弁天町地区連絡調整会議の開催(交通パリアフリー基本構想に基づく継続的な取組み)
- ②国道43号地下道のバリアフリー整備に向けた調整
- ③大阪ベイタワーと JR 弁天町駅を結ぶ立体横断施設のバリアフリー整備に向けた調整

#### 【取組みの方向性④】水辺空間の利活用の推進

- ①水辺空間の利活用にむけた検討プラットフォームの構築
- ②舟運や既存施設等を活用した社会実験イベント等の実施

#### 【取組みの方向性⑤】(仮称)区画整理記念・交流会館を拠点としたまちづくりの推進

- ①「(仮称)区画整理記念・交流会館」の整備
- ②まちづくりプラットフォームの構築(再掲)

#### 【取組みの方向性⑥】桜通りの港区コミュニティロードとしての位置づけと取組み

- ①港区コミュニティロードとしての位置づけと取組み
- ②港区コミュニティロードを活用したイベント等の開催



#### 中部(朝潮橋駅周辺)エリア -

#### 【取組みの方向性①】八幡屋公園を拠点としたエリアのにぎわい形成の推進

①八幡屋公園を拠点としたエリアのにぎわい形成に向けた取組みの推進 ②まちづくりプラットフォームの構築とにぎわい形成の推進

#### 【取組みの方向性②】三十間堀川入堀の埋立による土地利用の推進

- ①土地利用のニーズ調査及び土地利用の方向性の検討及び調整
- ②埋立事業の実施に向けた調整 ※事業内容や実施時期については、今後の検討の結果を踏まえて決定
- ③埋立による土地利用の推進

#### 【取組みの方向性③】市営住宅の建替事業を契機とした良好な住宅地の形成にむけた取 組みの推進

- ①都市整備局による市営住宅の建替事業の推進
- ②建替事業を契機とした良好な住宅地の形成にむけた取組みの推進

#### 【取組みの方向性④】商店街等エリア魅力向上モデル事業の継続的な取組みの推進

- ①エリアのリ・ブランディング戦略の実行
- ②朝潮橋駅周辺エリアのまちづくりプラットフォームの構築(再掲)

#### 【取組みの方向性⑤】若い世代や子育て層が住み続けたいと感じるまちづくりの推進

- ①商店街等エリア魅力向上モデル事業の取組みと連携した若い世代や子育て層をターゲットとしたエリア情報の発信
- ②まちへの愛着の醸成し、若い世代や子育て層が住みたいと感じるエリアの魅力づくり の推進



#### 西部(大阪港駅周辺)エリア

※「築港・天保山まちづくり計画(平成 30 年 3 月策定)」に基づく取組みを推進

#### 【取組みの方向性①】みなとオアシス大阪港・天保山を拠点とした水辺のにぎわい形成の 推進

①まちづくりプラットフォームによる舟運や既存施設等を活用した水辺の社会実験イベントの実施 ②みなとオアシス大阪港・天保山を拠点として、誰もが楽しめる水辺の利活用のルールづく りやにぎわい形成の取組み

#### 【取組みの方向性②】エリア内の資源を活用した観光集客力の強化と回遊性向上にむけた 取組みの推進

- ①クルーズ船客等をターゲットとした舟運社会実験との連携やナイトタイムエコノミーの充実 などエリア内の資源を活用した新たな観光コンテンツの創出
- ②エリアの活性化を港区全体に波及させるシェアサイクル等を活用した回遊性向上の取組み

#### 【取組みの方向性③】花の海遊ロード美化協議会の取組みをはじめとした美化修景の取組 みの推進

- ①花の海遊ロード美化協議会による美化活動の推進
- ②花の海遊ロードのシンボル化等をめざした地域景観形成ルールの検討

#### 【取組みの方向性④】天保山公園等の公共空間の利活用の推進

- ①天保山公園や客船ターミナル等が一体となった公民連携による社会実験イベント等の開催 ②集客施設と岸壁等の水辺空間が一体となった社会実験イベント等の実施
- 【取組みの方向性⑤】港町ならではの居住魅力の発信及び住宅供給の拡大にむけた取組み

#### の推進 ①居住促進イベントの開催等を通した移住へのきっかけづくりや若い世代や子育て層が住

- みたいと感じるエリアの魅力づくりの実施 ②大阪みなと中央病院跡地における住宅開発の誘導や、築港地区の埋立事業との連携な
- ②大阪みなと中央病院跡地における住宅開発の誘導や、築港地区の埋立事業との連携な ど、住宅供給の拡大をめざした取組みの推進



# 2025年大阪・関西万博の開催を契機とした持続可能なまちづくりの推進

#### 【推進体制の構築】

今後、具体的な取組みを展開していくにあたっては、既存のまちづくり組織等も活用しながら、各エリアの特性に応じた「まちづくりプラットフォーム」を構築し、区政会議等の場において各エリアの取組み状況の 確認や検証等を行いながら、港区が一体となった持続可能なまちづくりの推進体制の構築を進めていく

# まちの成り立ち

#### ■近世

弁天町駅周辺は、江戸時代までは、淀川河口に形成された砂州を形成しており、九条島浦と称されていた。

江戸幕府は、貞享元(1684)年、 西廻り航路などの航路開発や治水事業に数々の実績の有していた 河村瑞賢に 治水対策として安治川開削を命じ、天下の台所大阪の礎を築いた。なお、開削により積み上げられた土砂は、 「波除山 (瑞賢山) | と呼ばれた。

元禄十一(1698)年、伊勢国桑名の市岡与左衛門が幕府の許可を得て新田開発を行った かし上納金を含む二万両に及ぶ開発費と度重なる暴風雨によって経営不振となり、寛延二(1749)年、与左衛門 の子伝左衛門は当新田を大阪南組横堀吉野家の廻船問屋和田久左衛門に入質、以後和田家の所有となり、その後 も和田家によって開発が進められた。

新田では用水及び悪水排除のための井路が縦横に通され、安治川・尻無川に通じていた。 中路は肥料や収穫物の運搬にも用いられ、最大のものは八間の幅があった。作物としては蔬菜・桑・麦が栽培され、特に西瓜が有名であった。

### ■近代

戦災により区の約90%が消失したことから、戦災復興事業として盛土工事を含む土地区画整理事業を実施する こととなった。 大阪市西北部では昭和3年以降地盤沈下が急激に増大しており、浸水被害が深刻な状況であった ため、戦後大阪港修築事業による安治川・尻無川の浚渫土砂を利用する形で現在の地盤を約2mかさ上げするこ ととなった。(資料:港区誌)

昭和36年に大阪環状線、大阪メトロ中央線の弁天町駅が整備され、さらに環状線弁天町駅と並行するように国 道43号線が敷設された。</u>昭和40年には弁天町駅北西、安治川の河口に弁天埠頭が整備された。(平成7年には定 期航路が全て廃止。)。

弁天町という名前は、度重なる洪水や高潮の被害を鎮めるため、市岡新田会所に祀られていた「弁財天」に由来している。

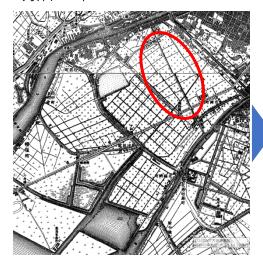
<u>平成5年には駅前にORC200(現在のOSAKA BAY TOWER)がオープンし、弁天町駅周辺の再開発が進んでいる。</u>

資料:大阪府の地名・港区誌

資料:大阪府の地名

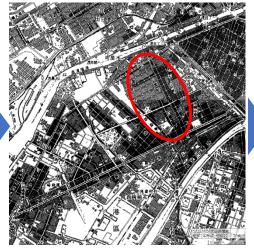


# 明治42年



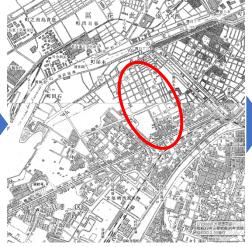
現在の弁天町駅周辺には田地が広がっており、市街地は見られない。

# 昭和7年



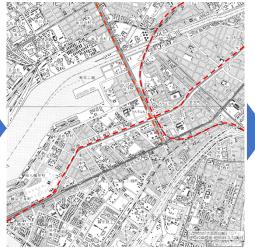
建物も集積し、周辺に工場、学校などが立地している。

# 昭和22年



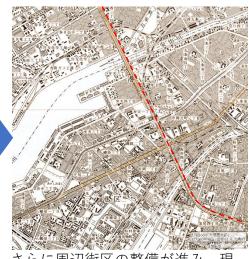
戦後は現在の駅周辺が空き地と なっている。

# 昭和42年



現在の位置に弁天町駅ができ、現在の大阪メトロ中央線、国道43号線も敷設される。

# 昭和60年

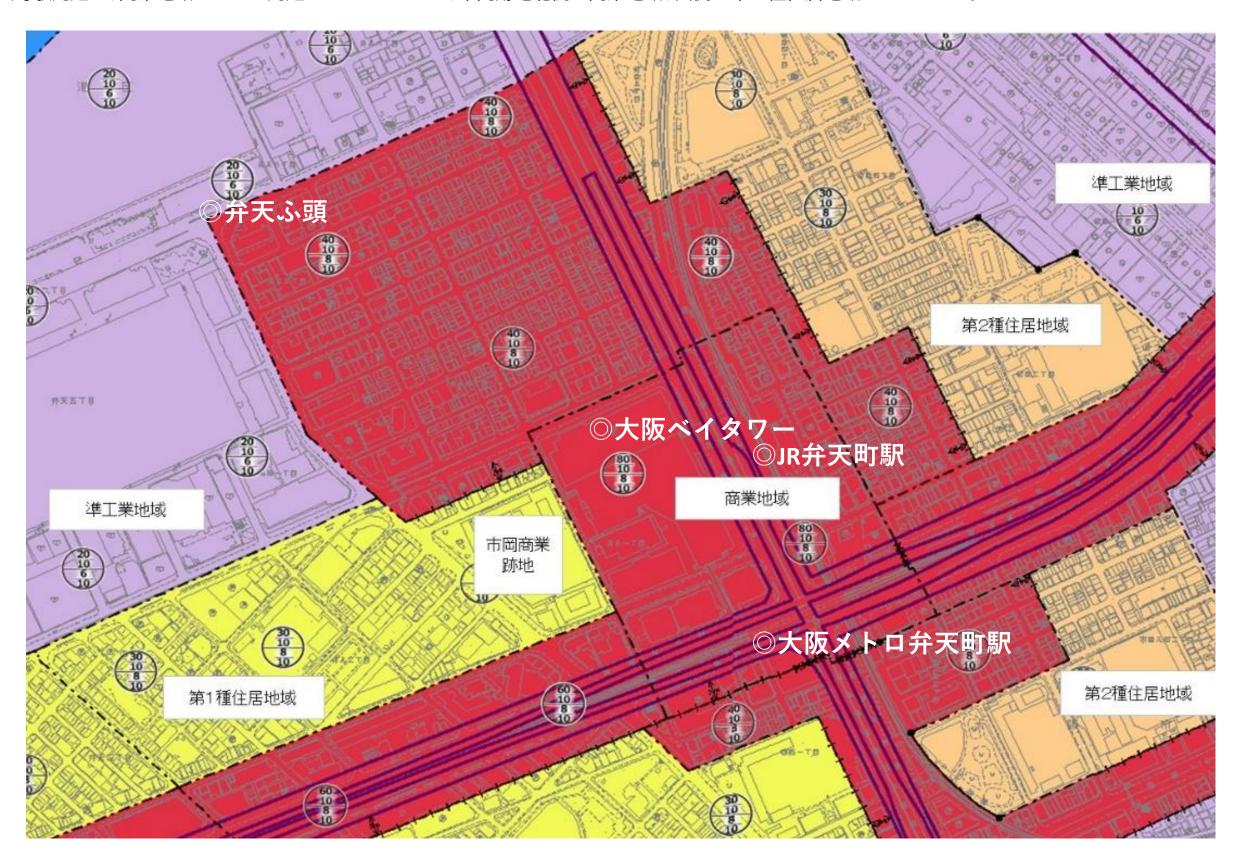


さらに周辺街区の整備が進み、現在の阪神高速17号西大阪線も敷設される。 図資料:今昔マップonweb

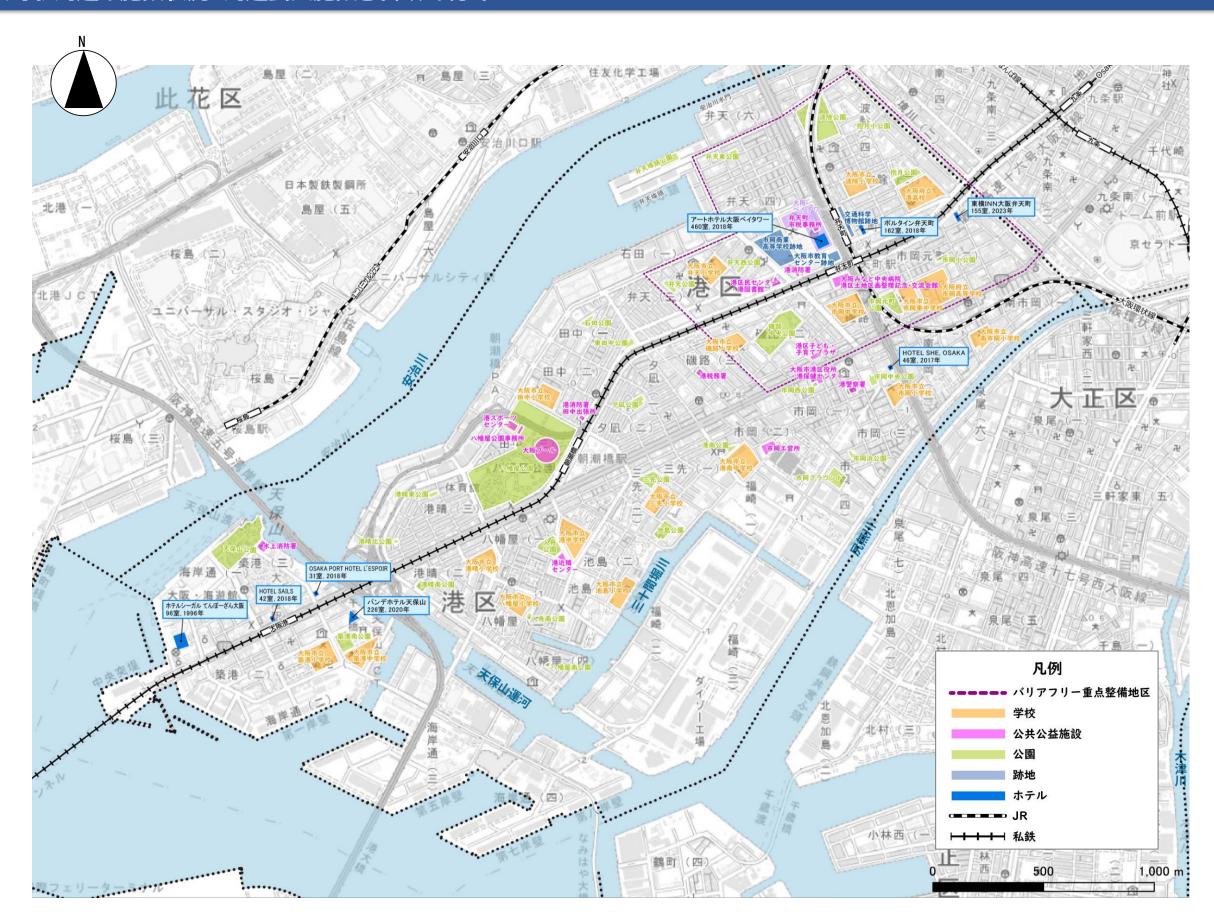
弁天町駅周辺の現状 【議事1参考資料】

# 用途地域

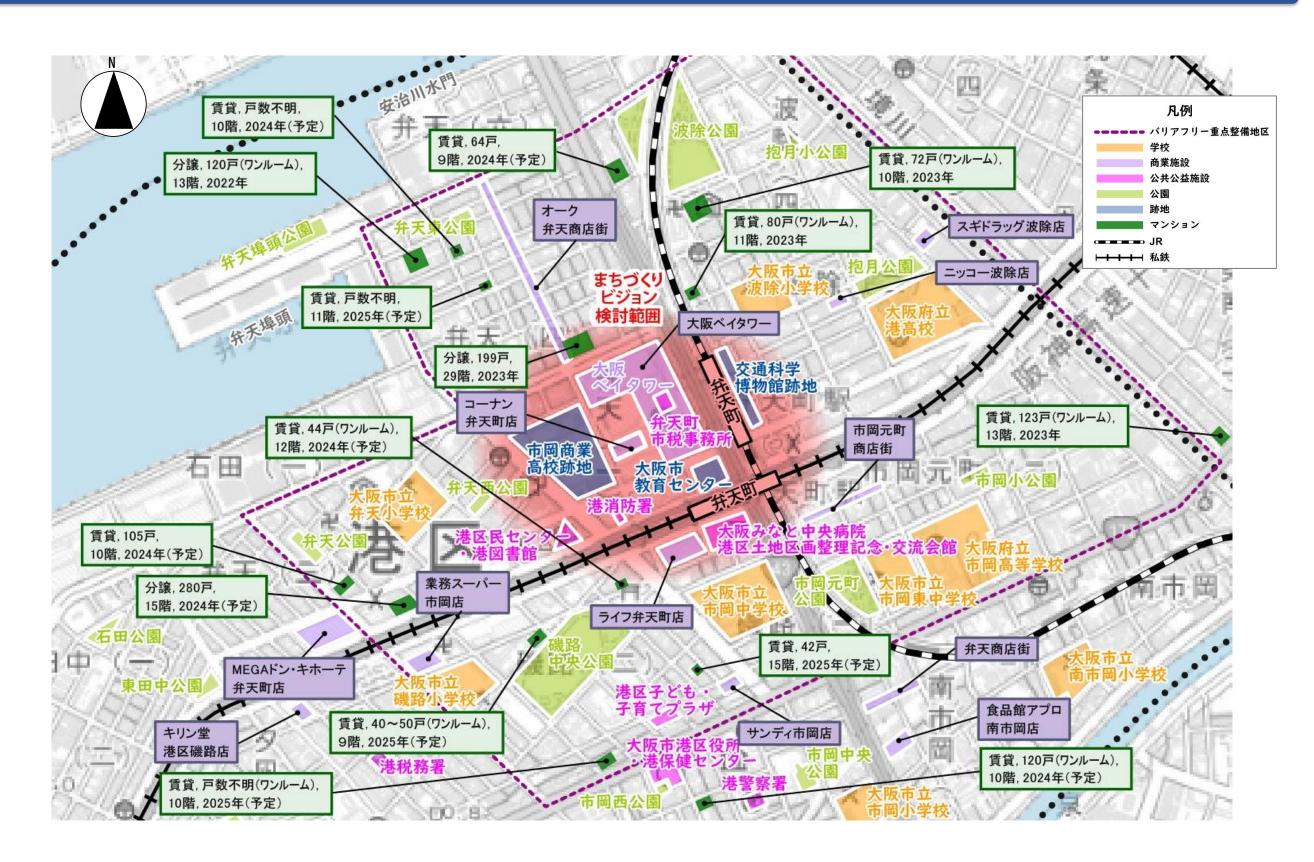
・弁天町駅周辺は、商業地域が主たる用途となっているおり、市商跡地北側は商業地域、西側は第一種住居地域となっている。



# 弁天町駅周辺の施設状況 周辺公共施設とホテルの分布



# 弁天町駅周辺の施設状況 商業施設及び主な2022年以降完成及び建築中のマンション



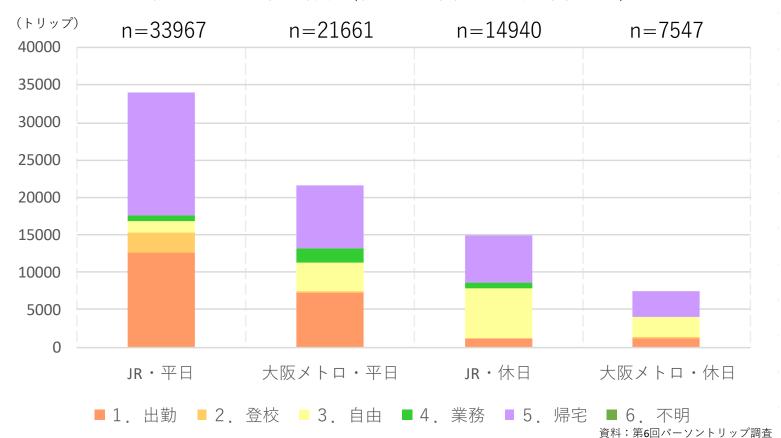
# 防災マップ



# 弁天町駅の利用者

- JR弁天町駅は1日の乗車人員は約27,645人であり、JR西日本管内の駅で21番目に、JR大阪環 状線の駅で7番目に乗車人員が多い。(右図)
- 大阪メトロ弁天町駅の1日の乗車人員は約17,470人である。(右下図)
- 大阪・関西万博 来場者輸送具体方針(アクションプラン)第 2 版(R5)によると、<u>万博</u> 時、鉄道(大阪メトロ中央線)による万博来場者数が1日平均約12.6万人になると想定されている。
- 統合型リゾート(IR)立地による影響調査(大阪府,H28)によると、<u>IR施設への集客見込数は、2024年は1,300万人程度、2030年は2,200万人程度である</u>。

# ■パーソントリップ調査による駅利用者数(利用した最初の駅及び最後の駅)



# ■JR駅の乗車人員

位	511		石		具	一位	511		省		具
1	大		阪	294,	979	26	西	九	条	24	,867
2	京		都	130,	294	27	南	草	津	23	,148
3	天	Ξ	寺	113,	905	28	福		島	22	,964
4	Ξ	J	宮	97,	117	29	芦		屋	22	.173
5	京		橋	96,	779	30			塚	22	,167
6	鶴		橋	73,	006	31	六	甲	道	22	.145
7	神		戸	52,	801	32	立		花	20	,809
8	広		島	52,	433	33	伊		丹	20	,683
9	高		槻	52,	220	34	大阪	沃	绾	20	,652
10	新	今	宮	51,	437	35	ΞΙ	国ケ	丘	20	,623
11	新	大	阪	49,	564	36	加	古	Ш	19	.871
12	岡		山	48,	982	37	Ξ		寺	19	,857
13	明		石	43,	087	38	森	ノ	宮	19	,397
14	姫		路	40,	279	39	天		満	19	,392
15	尼		崎	38,	064	40	吹		$\blacksquare$	19	,098
16	茨		木	37,	859	41	石		山	18	,953
17	北	新	地	37,	377	42	新	長	$\blacksquare$	18	,840
18	住		吉	29,	781	43	大		Œ	18	,824
19	山		科	28,	426	44	兵		庫	18	,717
20	元		町	28,	372	45	摄》	聿本	山	17	.732
21	弁	天	町	27,	645	46	12/	ーサル	沂	17	,032
22	西	明	石	26,	797	47	干	里	丘	16	,978
23	垂		水	26,	300	48	西		宮	16	,688
24	草		津	25,	182	49	大	久	保	16	,648
25	住		道	25,	089	50	岸		辺	16	,516
							出車	h : -	デーク	マ タで見るIR	西日本2022

出典:データで見るJR西日本2022

# ■大阪メトロ弁天町の駅利用者数

			1			
線・	• 駅	名	乗車	人員	降車	人員
,,,,,		Г	総数	うち定期	総数	うち定期
			人			
弁	天	田丁	17,470	5,433	17,472	5,469
京		橋	14,823	4,639	14,902	4,646
梅 東 西	梅梅	田田田	172,966 69,081 49,178	54,614 20,398 15,604	174,538 71,191 44,558	55,358 20,673 14,233
な	٨	ば	132,318	39,531	135,885	39,886
天 阿	王 倍	寺 野	112,034 8,730	38,329 2,377	111,016 7,866	37,949 2,159

資料 大阪市高速電気軌道株式会社

# 弁天町駅の利用者【参考】

- パーソントリップ調査のデータを乗降・路線別に見ると、JR弁天町駅の降車では出勤が47%、乗車は帰宅が58%と大半を占める。
- 大阪メトロ弁天町駅では、乗降ともにJRよりも自由目的や業務目的の利用が多く、乗降計で26%を占める。
- ■【参考】パーソントリップ調査による駅利用者数 弁天町駅 路線・乗降別の目的割合

